

はじめに v	
コラボレーション ソリューションのマニュアル v	
このマニュアルについて vi	
マニュアルの変更履歴 vii	
マニュアルの入手方法およびサービスリクエストの送信 vii	
表記法 viii	
章 1	
はじめに 1	
アーキテクチャの概要 1	
コラボレーション エンドポイント 4	
Webex コア サービス 5	
1	
Webex Hybrid Directory サービス 1	
概要 1	
前提条件 2	
コア コンポーネント 2	
推奨される導入 3	
主なメリット 3	
アーキテクチャ 4	
Cisco Directory Connector の役割 4	
Microsoft Active Directory の役割 4	
展開の概要 5	
高可用性 5	
拡張性 7	
Webex Hybrid Directory サービス展開プロセス 7	
1. Microsoft Windows サーバのホストを Cisco Directory Connector 用に導入します。 8	
2. ディレクトリ同期を有効にし、Control Hub から Cisco Directory Connector ソフトウェアをダウンロードします。 8	
3. Windows サーバホストに Cisco Directory Connector をインストールします。 8	
4. ディレクトリ コネクタを設定し、最初の同期を完了します。 9	
5. 定期的な増分同期と完全同期のスケジュールを設定します。 11	
6. インポートされたユーザを管理し、Webex サービス用にプロビジョニングします。 11	
1	
Webex Hybrid Calendar サービス 1	
概要 1	
前提条件 2	
コア コンポーネント 3	
主なメリット 3	
アーキテクチャ 4	
Cisco Expressway-C コネクタ ホストの役割 5	
カレンダーコネクタの役割 5	
Microsoft Exchange の役割 5	
クラウド カレンダー コネクタ アーキテクチャ 6	
クラウドカレンダーコネクタの役割 6	
Office 365 / Microsoft 365 の役割 7	

展開の概要 7

高可用性 8

拡張性 9

Webex Hybrid Calendar サービス展開プロセス 10

1. Cisco Expressway-C コネクタ ホスト OVAテンプレートをダウンロードして導入します。 10

2. Control Hub を使用して Expressway-C コネクタホストを Webex に登録 11

3. Webex Hybrid Calendar サービス統合のための Microsoft Exchange を準備します。 13

4. Webex Hybrid Calendar サービス統合のための Expressway-C コネクタ ホストを設定します。 14

5. Control Hub を使用して Webex Hybrid Calendar サービスのエンタープライズユーザーをプロビジョニング 16

1

Webex ハイブリッドコールサービス 1

概要 2

推奨される導入 2

主なメリット 4

アーキテクチャ 5

Webex ユーザー向け Webex ハイブリッドコール 5

ユーザーエクスペリエンス 7

Webex アプリ通話オプションの優先順位 10

Webex デバイス向け Webex ハイブリッドコール 10

セキュリティ 12

展開の概要 12

複数の Unified CM クラスターの展開に関する考慮事項 12

複数の Expressway クラスターの展開に関する考慮事項 13

高可用性 14

展開プロセス 14

Webex アプリ (Unified CM) の展開 14

Webex デバイスの展開 16

1

Cisco Webex Hybrid サービスのサイジング 1

Cisco Unified CM のサイジング 2

Expressway のサイジング 3

Webex ハイブリッド サービス コネクタ 4

ビデオメッシュノードのサイジング 4

仮想マシンの配置とプラットフォーム 4